

職員による自己評価

A 環境面

職員配置数に関しては、基準を満たして対応できている。駅から近いこともあり、利用したばかりの児童でも、場所を覚えやすく、一人で登校できる児童も増えてきた。

B 業務改善

前回のアンケートをもとに、月に1度のブログに今月の活動周知や非常時のマニュアル作成を行う。今回が2回目となるアンケート実施のため、今後のさらなる業務改善につなげていきたい。

C 適切な支援の提供

その日利用される児童の特性や最近の様子を職員間で情報共有することで、その都度一人一人にあった支援を検討し実施している。

D 関係機関との連携

一部の学校や他事業所との連携・情報共有をしている。また、研修にも引き続き参加している。

E 保護者への説明責任・信頼関係

保護者同士の関りを求める声が多かったため、父母の会・保護者会は未実施。

運営規定等は、入会時に口頭で説明し、文書を渡している。

F 非常対応

非常時のマニュアルを作成したことで、ご家庭で確認をしていただくことができるようになった。

保護者による評価

A 環境面

職員人数は足りているように思われるが、専門性があるかは不明。

設備面の説明や活動中の様子を実際にみたことがないため、見る機会があると良い。

天気のいい日には、外へ行くことは良いと思う。

1年ほどで職員の異動等があると不安になる。

B 児童への支援内容

運動企画などの感覚統合ごとに求められる支援があると良いと思う。

C 事業所からの情報発信

LINEによる、活動報告や連絡、対応をしていただき助かっている。

HPの更新は、少ないように思う。Facebookやブログなどで、1日の様子が少しでも見られると嬉しい。

D 非常対応

避難訓練の回数はもう少し定期的にあると安心。

E 満足度

楽しく通っている。宿題やゲームなどの内容も説明され、わかりやすい。

送迎があるとなおありがたい。

学年なみの学力をつけていただけるということであったが、現在遅れがある。

事業所内での分析

【共通点】

- ・非常時のマニュアル作成をしたこともあり、非常時等の対応では多くのご家庭から「はい」と回答。
- ・児童や保護者との意思の疎通や情報伝達は、前回同様になされている。
- ・支援の内容や、利用者負担等について説明が丁寧との評価が多い。

【相違点】

- ・定期的な活動内容に関しては、日々の記録以外でもHPで月に1度上げるも、保護者からは「どちらともいえない」という回答がやや多い。
- ・事業所内の設備面の説明もあると良いという意見もあった。
- ・父母の会に関して「はい」という回答は少ないが、「どちらともいえない」という回答が多かった。
- ・年に2回避難訓練があるも、「少ないかも」という回答もあった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・交通の便や立地の良さから、環境に慣れた児童の中では、徐々に送迎がなくても一人で通所している。今後も、児童のみで通所が増える傾向が見込まれる。
- ・家庭との連絡手段で、メール・LINE等を活用することで、児童の状況を共有していただき、支援につなげることができている。
- ・非常時のマニュアル作成など視覚化し、ご家庭にも共有することができている。
- ・公園も近くにあることから、外での活動も行っている。

事業所の改善点

- ・事業所設備に関しては、児童によって不備なところがないかなど、再度見直しをしていく必要がある。
- ・父母会の活動・保護者会については、保護者様方の意向の確認が必要である。
- ・定期的な活動内容に関しては、日々の記録以外にも、HPを活用していくことで、対応をしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・事業所環境に関しては、事業所職員で事業所内を見直ししつつ、保護者様からの意見にも耳を傾け、改善に努めていく。
- ・父母会の活動・保護者会については、保護者様の希望があった場合に検討をしていく。
- ・定期的な活動内容に関しては、少しずつHPの更新回数を月2回へしていくことで、対応していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

2回目となるアンケート実施ですが、多くのご家庭から評価をいただいたこと、前回に比べ保護者様の意見が多かったこと大変嬉しく思います。事業所に満足をしているか、子どもは通所を楽しみにしているかでは、『はい』という声が多く、嬉しく思います。しかし、『どちらともいえない』『いいえ』という意見もあり、保護者様も児童も満足していただけるように、一人ひとりの児童の発達状況や課題を再度職員間で把握し、支援の向上を目指していきたいと思ひます。

事業所の環境面や定期的な活動内容の共有など、まだまだ改善ができる部分が多くあることを今回のアンケートで知ることができました。保護者様から頂いた意見をもとに、多角的な視点をもち改善に努めていくこと、アンケート以外でも保護者様から質問や意見を言っただけの環境をつくれるよう、努めて参りたいと思ひます。

事業所名 オレンジスクール 青葉台教室

担当者 児童発達支援責任者 富田 志織